

令和 8年度予算見積調書

課室名：県土整備政策課
担当名：建設DX推進担当
内線：5199

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
N335	インフラ建設管理におけるDX戦略の推進			一般会計	土木費	土木管理費	土木総務費	土木技術管理費	
事業期間	令和 4年度～	根拠法令	公共工事の品質確保に促進に関する法律第3条第13項 公共工事の品質確保に促進に関する法律第7条第1項		針路	08	支え合い魅力あふれる地域社会の構築	SDGsゴール	12, 17
					分野施策	0805	デジタル技術を活用した県民の利便性の向上	SDGsターゲット	12-7, 17-14
1 事業概要 全ての建設生産プロセスにおいて3Dデータ等を活用し、建設業のDXを推進する。 (1) GISインフラデータ活用基盤運用・保守等業務 69,626千円 (2) 電子納品保管管理システム保守・運用等業務 15,684千円 (3) CIM・電子検査運用機器 2,737千円 (4) 県内建設企業トランスフォーメーション支援 891千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア GISインフラデータ活用基盤運用・保守等業務 69,626千円 イ 電子納品保管管理システム保守・運用等業務 15,684千円 ウ CIM・電子検査の推進 2,737千円 エ 県内建設企業トランスフォーメーション支援 891千円 (2) 事業計画 ア GISインフラデータ活用基盤 道路、河川などの3Dデータや県管理施設の点検データを保管、閲覧するGISの安定的運用と改善を行う。 イ 電子納品保管管理システム 工事や業務委託の電子成果品を保管、管理するシステムの安定的運用と改善を行う。 ウ CIM・電子検査の推進 CIMデータや電子成果品を電子データのまま検査を行い、成果品作成や検査業務の効率化を行う。 エ 県内建設企業トランスフォーメーション支援 建設DXの好事例について表彰し、受賞事例の横展開により県内建設企業のDXを推進する。 (3) 事業効果 ア 3Dデータを始めとするインフラデータの利活用促進による、建設業全体の生産性向上を図る。 イ 成果品保管のペーパーレス化により、受発注者双方の生産性向上を図る。 ウ 納品・検査のペーパーレス化、リモート化により、受発注者双方の生産性向上を図る。 エ 受賞事例の横展開により県内建設企業のDXを推進し、受注者の生産性向上を図る。 (4) その他 なし					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.5人=14,250千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比
		諸 収 入							
決定額	88,938	200						88,738	△11,813
前年額	100,751	508						100,243	

事業内訳書

事業名	インフラ建設管理におけるＤＸ戦略の推進		
単位事業名	インフラ建設管理におけるＤＸ戦略の推進	予算額	88,938千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
諸収入・雑入	200	△308	電子納品保管管理システムの利用に係る負担金 電子納品保管管理システム運用・保守等業務に係る費用のうち 企業局0.3%、下水道局1.2%
一般財源	88,738	△11,505	
合計	88,938	△11,813	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	525	525	電子検査運用機器調達
役務費	1,130	△428	遠隔臨場運用回線の提供業務（長期継続契約）
委託料	78,020	△5,288	電子納品保管管理システム運用・保守等業務 GISオンラインストレージ使用料
使用料及び賃借料	7,290	△4,024	3次元CADソフトウェアライセンス利用料
備品購入費	1,082	△2,598	電子検査運用機器調達

単位事業名	インフラ建設管理におけるＤＸ戦略の推進	予算額	88,938千円
-------	---------------------	-----	----------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	891	0	県内建設起業トランスフォーメーション支援
合計	88,938	△11,813	